

第3回 流山市市民参加推進委員会 議事録（概要）

- 1 日 時 令和7年8月27日（水）午前10時00分～午後0時30分
- 2 場 所 流山市役所第1庁舎3階 庁議室
- 3 出席委員 関谷委員長、齋藤副委員長、町山委員、竹井委員、井上委員、藤井委員
- 4 欠席委員 無
- 5 傍聴人 3名
- 6 事務局 片平コミュニティ課長、松田課長補佐兼コミュニティ係長、齋藤主任主事、内藤主事

7 議題

- （1）令和6年度市民参加実施事業の評価確定について
- （2）答申に向けた書面質疑について
- （3）その他

8 概要

- （1）令和6年度市民参加実施事業の評価確定について
 - ・令和6年度市民参加実施事業の評価確定について、議論を行った。その結果、各事業の評価が確定した。ただし、コメントの部分については、本会議の内容を盛り込んだ修正案を事務局にて作成し、後日メールにて確認することとなった。
- （2）答申に向けた書面質疑について
 - ・任意制で、質問がある委員は、質問表へ記入し、9月26日（金）までに事務局に提出することとなった。
- （3）その他
 - ・今年度の委員会における主な審議内容は本日の評価確定をもって終了となったため、12月24日（水）に予定されていた第4回市民参加委員会は実施しないこととなった。
 - ・予備として日程を押さえている1月28日（水）に予定されている委員会については、開催の有無を正副委員長と事務局で検討中であり、方針が固まり次第連絡されることとなった。

9 議事内容

開会

- ・流山市市民参加推進委員会が定刻通りに開会され、全員出席していることが確認され、会

議が成立している旨が報告された。

- ・事務局から本委員会の会議が公開であること、傍聴者の許可が行われたこと、傍聴者の遵守事項について説明が行われた。
- ・配付資料の確認が行われ、次第、評価シートのたたき台、集計表、選定表、評価シートの記入基準、質問表、答申に向けた質問表が配布された。
- ・本日の議題として令和6年度終了事業の評価シートの取りまとめについて審議が行われることが説明された。

議題（１）令和6年度市民参加実施事業の評価確定について

- ・事務局は、各委員から提出された評価シートを基に、委員会としての評価シートのたたき台（資料1）と集計表（資料2）を作成した。
- ・評価項目は①市民参加の方法の選択、②市民参加の方法のスケジュールの妥当性、③事業内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供の3項目で、AからDの4段階評価で判断される。
- ・総評はAプラスからDマイナスの12段階評価で記載される。点数化の計算方法は資料2の集計表に記載されている。
- ・評価確定の際には、他の委員の意見を参考に個人の評価を変更することが可能であり、全員が同じ評価でなくても最終的に異なる評価を確定することができる。
- ・評価理由や今後の改善点について審議し、点数だけでは表せない部分をコメントとして残すことが求められる。
- ・委員会の時間配分は資料3の選定表を参考にしながら進めるが、必ずしもその通りに進める必要はない。
- ・評価シートは委員会でまとめたものを、対象事業担当課を含む全課に配信し、フィードバックを行う。また、来年度の答申時には市民向けにも公表される予定。
- ・評価の確定においては、評価理由を明確にし、コメントに反映させることが重要である。評価案の趣旨がわかる形で最終的なまとめを行う。

（１）－１：流山市避難行動要支援者避難支援計画の改定

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはA評価、情報提供の内容についてはA評価とされ、総評としてはBプラスの評価が付けられた。
- ・市民参加の方法について、審議会やパブリックコメントが中心となっているが、より多様な市民の意見を吸い上げる手法が必要であるとの指摘があった。特に、これまでのプロセスで得られた課題が、改定にどの程度反映されているかが不明確である点が課題として挙げられた。
- ・市民参加の方法に関して、地域の支え合い活動や出前講座などの取り組みが行われているが、これらの活動が予定シート・結果シートに十分反映されていない点が指摘された。これにより、情報共有のプロセスが不十分であるとの評価が一部でなされた。
- ・避難支援計画の改定において、災害時の情報共有が重要であるとの意見があり、特に地域住民を巻き込んだ情報共有の仕組みが必要であるとされた。東日本大震災の経験を踏まえ、地域全体での支援体制の構築が求められているという意見があった。

- ・評価のばらつきは少なく、全体的に高い評価が与えられているが、改定においてこれまでのプロセスで得られた課題を明確にし、それを共有することが重要であるとの意見が複数の委員から出された。

(1) — 2：流山市第5次男女共同参画プラン

- ・市民参加の方法の選択についてはC評価、スケジュールの妥当性についてはB評価、情報提供の内容についてはB評価とされ、総評としてはBマイナスの評価が付けられた。
- ・委員の意見では、パブリックコメントのスケジュールが後ろに設定されており、審議会での反映が難しい点が指摘された。また、情報提供の概要が不十分であり、市民参加の方法について改善が必要との意見が多く出された。
- ・第5次プランの作成にあたり、これまでの計画での不足点や原因を市民に共有し、次の計画に反映させるべきとの意見が出された。これまでの計画の積み重ねが市民に十分伝わっていないことが問題視された。
- ・市民参加の方法について、目標数を設定し、それに基づいて意見を収集するべきとの提案があった。現状では2名の意見で承認されたことが問題視され、より多くの市民の声を反映する仕組みが必要とされた。
- ・厳しい評価は駄目出しではなく、課題を共有し改善を促すためのものであるとの認識が確認された。

(1) — 3：国民健康保険料の見直し

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはB評価、情報提供の内容についてはA評価とされ、総評としてはBの評価が付けられた。
- ・この事業には市民参加が適しているかどうかについて、専門家の判断が必要な事業や市民参加の性質に合わない事業があり、この事業はそれに当てはまるのではないかと議論があった。
- ・市民参加の対象とするのであれば、意見の件数が少ないことが問題視されており、より多くの市民の声を集める場や機会の必要性が指摘された。

(1) — 4：流山市こども計画の策定

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはA評価、情報提供の内容についてはB評価とされ、総評としてはAマイナスの評価が付けられた。
- ・アンケート調査や審議会などの市民参加手法が活発に行われており、特にアンケートでは1万件近くの回答が得られていることは、評価された。
- ・予定シート・結果シートでは審議会とパブリックコメントの実施しか記載されていないため、実施した全ての手法の記載が求められた。さらに、過去の課題や経緯を反映した予定シート・結果シートの作成が今後の委員会の課題として挙げられた。
- ・こども計画の対象者が0歳から29歳と幅広いことから、若年層や親世代への情報提供や意見聴取の方法を改善する必要性が指摘された。特に、広報や子育てチャンネルだけではなく流山市公式LINEアカウントなどの活用が重要であるとされた。
- ・評価の最終決定として、Aマイナスが選ばれた。これは、複数の手法で市民参加を促進

している点を評価しつつ、課題の提示や情報提供の改善を期待するものであった。

(1) —5：第3次流山市環境基本計画

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはA評価、情報提供の内容についてはA評価とされ、総評としてはAマイナスの評価が付けられた。
- ・評価のばらつきが大きいと、現状のままで問題ないとの意見に対し、特に異論が出なかったため、原案通りの評価で進めることが確認された。

(1) —6：流山市下水道事業経営戦略の改定について

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはA評価、情報提供の内容についてはA評価とされ、総評としてはBプラスの評価が付けられた。
- ・市民の生活にも直接関係している件にも拘わらず、パブリックコメントの件数が6件と少なく、市民の意見が十分に反映されていない可能性があることが挙げられた。
- ・経営戦略の策定において、審議会やパブリックコメントだけでなく、専門家へのヒアリングや企業経営者へのアンケート調査など、より高度な手法を取り入れるべきとの意見が出された。
- ・市民参加のあり方について、下水道の経営戦略が市民にとって馴染みの薄いテーマであるため、具体的な意見を引き出すための工夫が必要であるとの指摘があった。

(1) —7：教育振興基本計画の策定

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはB評価、情報提供の内容についてはB評価とされ、総評としてはBプラスの評価が付けられた。
- ・学校教育から社会教育まで幅広く網羅する計画であるが、学校教育への比重が高い計画となっており、社会教育部分の意見集約が審議会だけでは不十分ではないかとの懸念が示された。
- ・パブリックコメントの実施時期が審議会等の後であった点がスケジュール評価に影響を与えた。
- ・学校教育や生涯教育の現状における課題が明確にされていない点が情報提供の評価に影響を与えた。
- ・手法の選択について、一定の評価をした委員もいたが、情報提供とのバランスが課題として挙げられた。

(1) —8：生涯学習センター体育館の冷房使用料金設定

- ・市民参加の方法の選択についてはB評価、スケジュールの妥当性についてはC評価、情報提供の内容についてはB評価とされ、総評としてはB評価が付けられた。
- ・スケジュール評価に関して、審議会とアンケート調査の時期が重なり、双方の手法への意見の反映が困難であるとの指摘があった。
- ・スケジュールの改善が必要であるとの意見が多く出され、最終的にスケジュール評価はC評価に修正された。

(1) — 9 : 流山スポーツフィールド(A面)人工芝化に伴う利用料金設定

- ・市民参加の方法の選択についてはA評価、スケジュールの妥当性についてはA評価、情報提供の内容についてはB評価とされ、総評としてはBプラス評価が付けられた。
- ・受益者の意見を聞いたことは良いが、一般市民の意見も取り入れるべきだと提案があった。

(1) — 10 : コミュニティプラザ体育室のエアコン利用料金設定

- ・市民参加の方法の選択についてはA評価、スケジュールの妥当性についてはB評価、情報提供の内容についてはB評価とされ、総評としてはB評価が付けられた。
- ・アンケートの結果が審議会で議論されず、課内での検討材料としてのみ使用された点が指摘された。これにより、アンケートの目的や意義が不明確であるとの意見が出た。
- ・アンケートのスケジュールがタイトであり、回収率を上げるために期間を延長したが、結果的に案の修正が行われなかった点や答申の後の締切りとなっていて反対の意見が多かった際にどう考えるつもりだったのかが問題視された。
- ・アンケートの期間を延ばして98件集めたことは評価できるが、アンケート調査の開始時期が遅かったことが課題として挙げられた。
- ・アンケートの目的が利用者への料金改定の通知のように感じられ、地域住民や一般市民への説明会など他の意見聴取方法が検討されるべきだったとの意見が出た。

(1) — 11 : 総括コメント

- ・市民参加に基づく意見聴取が予定シート・結果シートに十分に反映されていない点が指摘され、今後の資料作成において可能な限り反映するよう努める必要があるとされた。
- ・市民参加にふさわしくない事業が存在する可能性があり、流山市市民参加条例に基づき該当するものを挙げることを求められるが、専門性が高いものや市民が答えづらい内容については慎重に検討する必要があるとされた。
- ・本委員会で事例研究や市民参加促進のお手伝いをすることも可能ではないかというコメントに賛同があった。
- ・総括コメントの追加については、後日反映する機会があるため、今日の段階で思い当たらない場合でも後日メールにて意見を提出することが可能であることが確認された。

議題(2) 答申に向けた書面質疑について

- ・事務局から、答申に向けた書面質疑の実施方法について説明があり、事前質問と同様に各委員からメールで質問票を提出し、事務局が取りまとめた後、担当課から書面による回答を行う形となることが確認された。
- ・書面質疑の提出は任意であり、質問票の提出期限は9月26日金曜日までと設定された。また、委員会終了後に質問票のデータが送付されることとなった。

議題(3) その他

- ・今年度の委員会における主な審議内容は本日の評価確定をもって終了となり、第4回目の委員会は開催せず、答申に向けた書面質疑のみを実施することとなった。

- ・第5回目の委員会については、1月28日予備日として日程が押さえられているが、開催の有無については正副委員長と事務局で検討中であり、方針が固まり次第連絡される予定となった。
- ・来年度の流れとして、今年度の審議内容と来年度の評価内容を踏まえ、後半に事務局で答申案を作成し、委員会で協議して最終的な答申をまとめる形になる予定であることが案内された。
- ・委員長から、今年度は答申をまとめる年ではないため、評価が完了すれば今年度の役割は終了することが確認された。また、答申に向けた質問がある場合は事務局にメールで提出するよう案内された。

[閉会 12時30分]